



2020年8月13日

各 位

会 社 名 株式会社エラン
代表者名 代表取締役社長 代表執行役員 櫻井 英治
(コード番号 6099 東証第一部)
問合せ先 執行役員 IR室長 原 秀雄
(TEL. 0263-44-2690)

2020年12月期 第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年2月13日に公表した2020年12月期の第2四半期累計期間(2020年1月1日~2020年6月30日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2020年12月期通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年12月期 第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異

① 2020年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異

(2020年1月1日~2020年6月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,710	800	810	530	17.49
実績値(B)	12,162	985	991	664	21.94
増減額(B-A)	452	185	181	134	—
増減率(%)	3.9	23.1	22.4	25.4	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	10,340	775	780	521	17.20

② 2020年12月期 第2四半期（累計）個別業績予想と実績値との差異

（2020年1月1日～2020年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,710	490	780	800	26.40
実績値（B）	12,162	671	982	960	31.70
増減額（B－A）	452	181	202	160	－
増減率（％）	3.9	37.1	26.0	20.1	－
（ご参考） 前期第2四半期実績	9,142	508	675	459	15.15

2. 2020年12月期 通期業績予想の修正

① 2020年12月期 通期連結業績予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	24,650	1,720	1,730	1,140	37.62
今回修正予想（B）	25,000	1,800	1,800	1,200	39.60
増減額（B－A）	350	80	70	60	－
増減率（％）	1.4	4.7	4.0	5.3	－
（ご参考） 前期実績	21,518	1,492	1,501	989	32.66

② 2020年12月期 通期個別業績予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	24,600	1,050	1,650	1,370	45.21
今回修正予想（B）	24,950	1,130	1,720	1,430	47.20
増減額（B－A）	350	80	70	60	－
増減率（％）	1.4	7.6	4.2	4.4	－
（ご参考） 前期実績	18,948	797	1,264	852	28.13



3. 業績予想と実績との差異及び業績予想修正の理由

(連結)

主として、第2四半期(累計)個別業績予想と実績値との差異及び個別業績予想修正の理由によるものであります。

(個別)

2020年12月期第2四半期累計期間につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、日常生活用品の品不足が発生し、仕入価格が上昇したことなどから、前年同期と比較して、売上原価率が上昇しました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響から、「CS(ケア・サポート)セット」の需要が増加し、主に、過年度に「CSセット」を導入した既存施設における利用申込が堅調に推移しました。その結果、売上高及び売上総利益が当初計画値を上回り、売上原価率の上昇によるコスト増を吸収しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響及び見通しについて不透明な状況であったことから、社内におけるコスト削減の取り組みにも注力いたしました。その結果、販売費及び一般管理費が当初計画値を下回りました。

これらの結果、2020年12月期第2四半期累計期間に係る売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ前回予想(2020年2月13日公表)を上回りました。

第3四半期以降につきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動への影響は国内外において継続するものと考えられますが、主に過年度に「CSセット」を導入した既存施設における利用申込は堅調に推移するものと予測しております。この予測及び第2四半期累計期間の実績を織り込み、2020年2月13日に公表しました通期業績予想を修正いたします。

※ 業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上